

科学的社会認識を育てる授業研究

I 主題設定の理由

社会科で指導する内容は、社会認識である。それを科学的に考えていくところに科学的な社会認識がある。その過程においては、事実認識・関係認識・主題認識がある。それぞれにどのような資料を使い、どのような手だてをとっていくかが大切である。この認識力を養うことが社会科のねらいの一つである。

基礎・基本が習得され、ある単元で学んだことと身につけた認識力が他の単元にも応用できること。このことこそが科学的社会認識を身につけたということではないだろうか。

II 研究の内容

1 小学校部会

科学的社会認識を育てる授業研究を支える観点として「楽しい社会科授業の創造」「習得型の社会科授業」「資料をいかした社会科授業」「活用型・探究型の社会科授業」の4点を設定した。実践をもとにした研究を進めるために、研究授業における事実をもとに研究を進める。それとともに、各部員が自分の実践を持ち寄り報告することで、日々の実践につなげられるようにした。

(1) 授業実践研究(三富小)

「三富の林業について」4年 志村 克人教諭

(2) 実践・情報報告

(3) 臨地研修 甲府地方裁判所

2 中学校部会

「科学的社会認識」を事実認識、関係の認識、主体認識として捉えている。社会事象は決して偶然なものではなく、時に人間が、国家が、政府が、或いは自然が原因あって事象をつくり出しているものである。それを子どもたちに、データや資料を提供しながら考えさせていく。それが、科学的社会認識を育てていくことの中核である。部会として、「身近な資料を生かした授業研究」をサブテーマに設定し、生徒がいきいきと科学的社会認識を習得できる授業づくりを目指している。

(1) 科学的社会認識を育てる手だてについて、理論研究を深める。

(2) 臨地研修と学習会を行うことにより、地域の資料の教材化を図る。

ア 根津記念館・富士食品工業（山梨市）

イ わだつみ平和文庫（甲州市）

(3) 授業実践研究（大和中）

歴史的分野（2年） 「第1次世界大戦」米騒動 澤登正仁教諭

Ⅲ成果と課題

1 小学校部会

- (1) 4年「まちを開く」三富の林業において、三塩軌道や炭焼きの仕事などの地域の素材を掘り起こし、組織的に授業研究をすることができ良かった。子どもたちにとっても部員にとっても、三富という地域の特色をつかむことができた。
- (2) 社会科において資料の重要性が再認識できた。特に、資料の選択、切り取り、提示、解説など、様々な視点が見えてきた。また、資料不足や資料の難解さ、児童への資料提示の仕方など、教える難しさも感じた。
- (3) 一人一実践・情報の報告をすることで、社会科の授業に直結するような資料や情報を得ることができ、とても参考になった。各自持ち寄った実践は、自分がないものを新たに取り入れ、教材のバリエーションを増やすことができた。部員みんなで作くり、考え、実践する研究会となっている。
- (4) ふだんなかなか見ることのない甲府地方裁判所の見学は、裁判員制度が始まった今年、まさにタイムリーであった。社会科を教えるために参考になったのはもちろん、自分に関わる問題としても貴重な機会であった。
- (5) 社会科において、教材作りや資料収集などのための臨地研修は、とても大切である。社会科部会としても、地域の素材を収集するなど、教材作りについての取り組みも実施できたらよい。
- (6) 実践発表が一日に集中したことがあり、報告時間が短かかったので、もっと分散させてじっくりやっているとよい。

2 中学校部会

- (1) 今年度も年度当初に宮本校長先生から科学的社会認識についてのお話をいただき、今年度の社会科部会研究の指針となり非常によかった。
- (2) 『「科学的社会認識」を得る』というテーマは社会科部会としては不変なものなので、今年度の社会科部会も、このテーマがあるからこそ資料の選択や授業方法の探究を進めることができた。
- (3) 澤登先生に授業をしていただき、研究テーマについて学ぶべきヒントが多くあった。身近な地域の資料の扱い方、使い方、タイムリーに生徒に伝えるためにどうしたらいいのか考える材料となった。
- (4) これまでの臨地研修で得た資料をもとにして共同授業案づくりを進められるとよい。また、そのような資料を活用した実践報告が行えるようにする。
- (5) 小学校との連携を図り、相互に授業を見合う機会が作れるよう工夫する。
- (6) 地域の中で埋もれている資料を紹介し合ったり、地域のもの以外でも興味深い資料を探して持ち寄ったりすることができた。
- (7) 新教育課程での授業に向けた学習の場が持てるとよい。

(小学校部長 中村 賢司 塩山北小)

(中学部部長 前島 香織 勝沼中)